

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2004年7月13日

2004年7月11日現在

7月11日に終わる1週間の各地の最高気温は、NCにては80～89度F、NE地区では80～93度Fとなり、最低気温は30度後半から40度の前半であった。全州にて気温は高目であった。降雨は全州で有り、NC地区の1週間の降雨水量は0.59～2.04インチ、NE地区では0.55～1.19インチであった。Cent.は少な目であったが0.20～0.76インチであった。

1週間の週平均農作業稼働日数は5.4日（前週：6.0日）であった。土壌水分は改善し、昨年並びに5年平均より良好となった。

気温の上昇は小麦の生育を早め、冬小麦では99%が出穂、全体の42%が登熟期に入った。春小麦85%が穂孕み期であり、62%が出穂した。冬小麦の成熟は昨年並びに5年平均より遅れ気味であるが、ゆっくりと澱粉蓄積がされていると観察された。春小麦の生育は昨年並びに5年平均より多少遅れ気味である。適宜の降水と気温の上昇のお陰で、作柄は良く、昨年並びに5年平均より良い評価となった。

農務省の7月1日付け冬小麦の生産量予想では、単位収量は6月1日予想の34.0ブッシェルより2割以上上昇し、38.0ブッシェルとなった。

亦、同省のサーバーに拠れば、1平方フィート内の穂数は、36.4本(昨年最終値：36.6本)であった。春小麦の生産量予想では、単位収量は2003年産の22.0ブッシェルを上回り、27.0ブッシェルと発表された。明細は別表の通り。

土壌水分：7月11日現在

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	8	15	26	21
Short (%)	29	30	40	39
Adequate (%)	59	52	34	39
Surplus (%)	4	3	0	1

Subsoil

Very short (%)	27	31	28	29
Short (%)	33	34	40	39
Adequate (%)	40	35	32	31
Surplus (%)	0	0	0	1

小麦生育状況：7月11日現在

<i>Winter wheat</i>	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Headed (%)	99	97	98	98
Turning (%)	42	20	80	64
<i>Spring wheat</i>				
Boot (%)	85	71	91	86
Headed (%)	62	40	65	62

小麦作柄状況：7月11日現在

Winter wheat	This week	Last week	Last year	5-year Ave
Very Poor (%)	4	4	4	12
Poor (%)	7	11	9	22
Fair (%)	22	29	31	34
Good (%)	60	48	45	26
Excellent (%)	7	8	11	6

小麦作柄状況：7月11日現在

Spring wheat	This week	Last week	Last year	5-year Ave
Very Poor (%)	3	3	2	7
Poor (%)	5	10	7	12
Fair (%)	25	23	30	31
Good (%)	61	58	56	42
Excellent (%)	6	6	5	8

Source: Montana Agricultural statistics Service

農務省発表7月1日付け小麦生産量予想：

Crop year	Area Harvested 1,000 acres		Yield bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2003	2004	2003	2004		2003	2004
				June 1	July 1		
<i>Winter W</i>	1,720	1,550	37.0	34.0	38.0	63,640	58,900
U. S. A.	36,541	34,825	46.7	43.6	42.2	1,707,069	1,469,735
<i>Spring W</i>	2,700	2,700	22.0	-	27.0	59,400	72,900
U. S. A.	13,429	13,210	39.7	-	37.9	532,820	500,765

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>